

いのちをつなぐ

SARAYA

GUD-1000/500-PHJ

取付板を使用した、 GUD-1000/500-PHJの 壁面への取付手順

- 1) 取付板の取付
- 2) 本体のセット
- 3) 完了



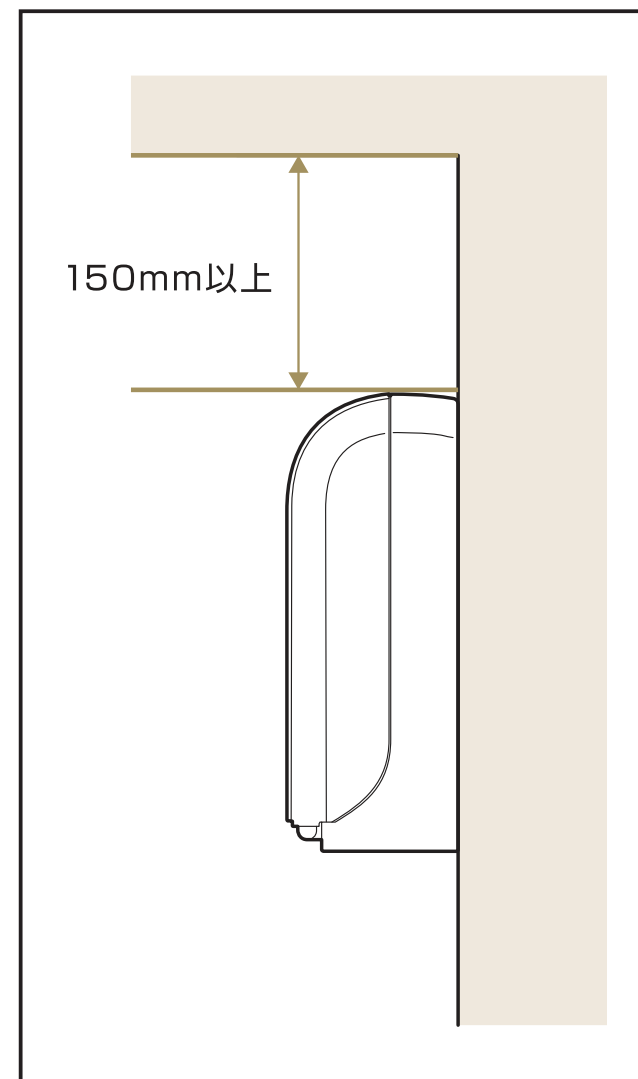
本コンテンツは、サラヤ株式会社・東京サラヤ株式会社ならびに関係会社における教育ツールの一環として制作されたものであり、許可の無い使用および転載、その他一切の権利を侵害する行為を禁止します。

GUD-1000/500-PHJ

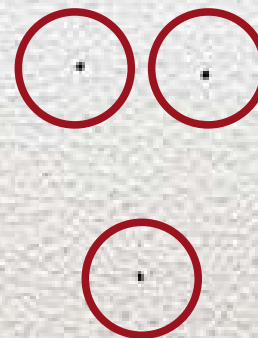
取付板の取付



本体と取付板(オプション品)を用意します。



設置する高さを決定します。※鍵を鍵穴に差し込むため、天面から上は150mm以上空けること、センサーが付近の障害物を感知して作動しないことを確認してください。



取付位置にマスキングテープを貼り、水平の確認とビスを打ち込む3カ所にマーキングします。

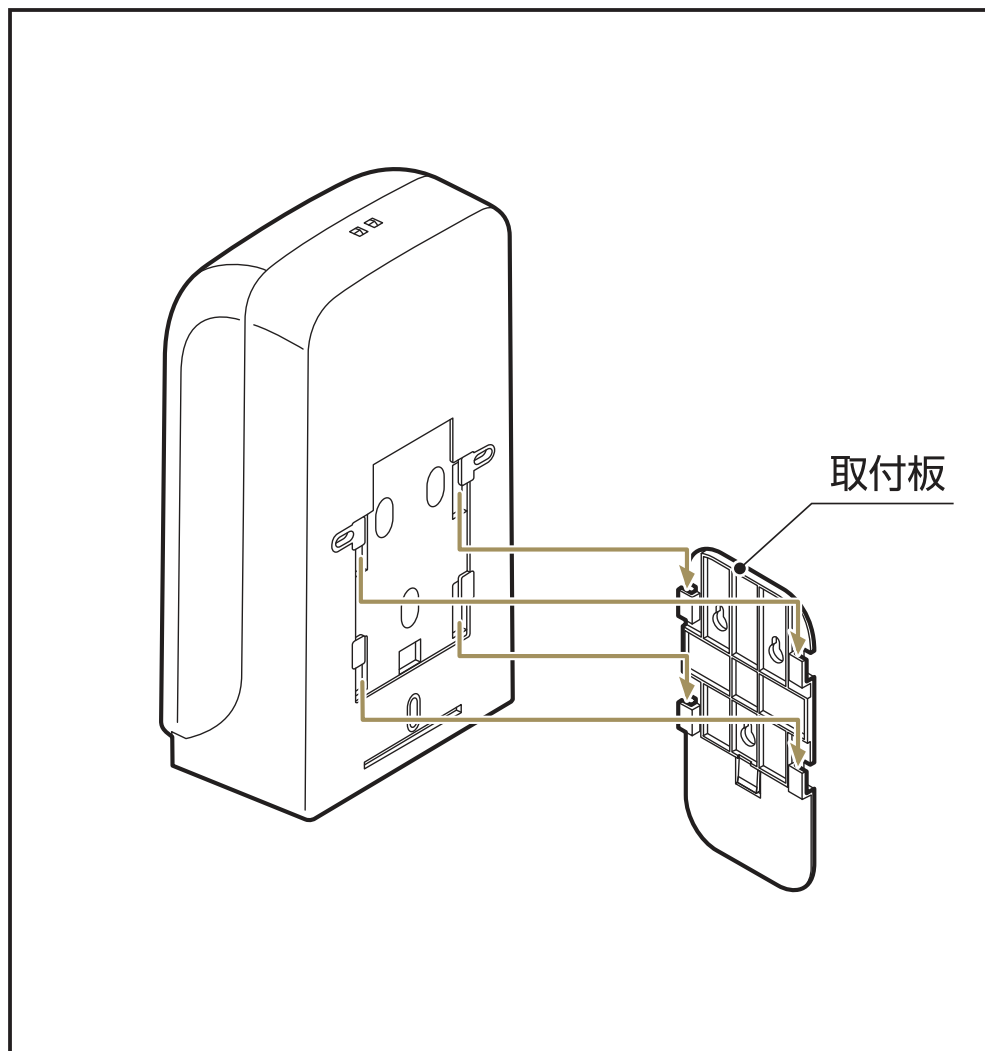


ビスを3カ所打ち込みます。

※壁の破片が落ちますので、破片受けを用意しましょう。



再度水平を確認し、問題がなかったらマスキングテープを外しましょう。
取付板の取付は終了です。



本体を取付板に添わせながら、下にスライドさせて取り付けます。

GUD-1000/500-PHJ

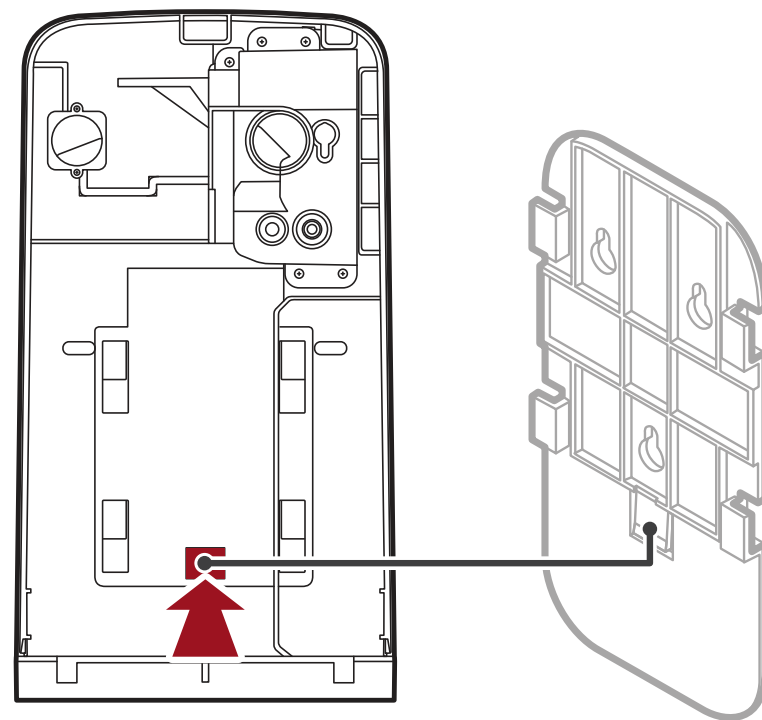
本体のセット



カバーを元に戻して、最後に“カチッ”と音がするまで押し込みます。
※手をはさんだりしないように気をつけましょう。

GUD-1000/500-PHJ

本体のセット



《本体内側 正面》

本体を取り外す際は、カバーを開け、本体内側にある取付板のツメを押したまま、本体を上をスライドさせて取り外します。

GUD-1000/500-PHJ

完了

いのちをつなぐ

SARAYA

以上で作業は終了です。

作業スペースを清掃し、忘れ物に注意しましょう。